

「青野の郷」

滋賀県東近江市青野町・青野開拓

滋賀県の東部に位置する東近江市は三重県に接し、愛知川に沿って琵琶湖東岸まで東西に長い。05(平成 17)年、八日市市、神崎郡永源寺町・五個荘町、愛知郡愛東町・湖東町が合併して発足。永源寺町の一部を分離し、青野町を設置した。鈴鹿山麓にある同町は、ダム建設に伴う入植移住者が切り開いた。

八日市市の陸軍飛行場跡をはじめ、永源寺町、愛東町などに属する平地林は、国の緊急食糧増産対策により、開拓地に設定された。46(昭和 21)年 11 月、開拓計画に基づき、先発隊がまず八日市地区の測量を行い、翌年から入植が始まった。

併行して、愛知川の上流に農業用水国営愛知川ダムの建設が計画された。永源寺町の三地区が水没するため、住民 213 戸のうち何十戸かは、同町青野玉緒地区に入植移住することとなった。

第一次の入植は 57 年で、翌年、青野開拓地の入植起工式が行われた。その後第二次、第三次と続き、合計 90 戸余が入植した。農地配分は 1 戸当たり約 0.8 ㌧。57 年に県が約 5 ㌧を重機で整地し、稲の作付けができる運びとなった。だが、地質は強酸性の瘠せ地。入植者は山深き谷間から下山した人々で、畑作の経験しかなく、水田の肥培管理は苦労が多かった。

開墾が進み、区画された圃場が広がっていった。宅地化も進み、移り住む一般人が多くなった。現在の青野町の世帯数は約 200、人口は約 570 人となっている。

三重県に通じる国道 421 号線沿いの多目的集会場の広場内に、記念碑がある。青野町自治会が 07 年に建立したもので、碑銘は「青野の郷」。隣の副碑には「青野町誕生の歩み」が刻まれている。

中段に「当時の開墾には機械の導入も少なく、人力、牛馬の力にて開墾が行われ、先代の方々は毎日汗と泥にまみれ大変な苦労をされ、現在の青野の基礎を築かれた」、末尾に「ダム建設に伴う入植から五十年となるこの期に、先代の方々への感謝の気持ちと、この歴史を次代の子孫に伝えるため茲に記念碑を建立し、顕彰するものである」と記されている。

青野の郷 開拓記念碑

- ①所 在 滋賀県東近江市青野町
- ②設置年月日 平成19年10月
- ③設置者 青野町自治会
- ④碑名 開拓碑
- ⑤碑文(表面) 青野の郷 東近江市長 中村 功一 揮毫
- ⑥副碑(表面) 青野町誕生の歩み

鈴鹿山麓の裾野に開けたこの地青野は、永源寺ダム建設に伴い水没する旧永源寺町、佐目、九居瀬、萱尾の三地区が入植移住した地である。

昭和三十三年には青野開拓地の入植起工式が行われ、第一次による原野の開墾が始められた。その後、第二次、第三次入植が行われ、入植者による開墾が進められた。当時の開墾には機械の導入も少なく、人力、牛馬の力にて開墾が行われ、先代の方々は毎日汗と泥にまみれ大変な苦勞をされ、現在の青野の基礎を築かれた。今、我々は尊い汗の結晶のこの地に感謝し、愛着を持って先代の方々の意思を次代に引継がなければならない。

顧みるとダム建設により入植移住した戸数は当初九十戸余であったが、昭和三十五年には青野住宅が建設され、その後平成二年には青野ニュータウンが開発された。戸数も百五十戸余に増えたが、各地区別の自治会として活動されていた。平成十五年各自治会が話し合いの上、青野自治会が発足した。

平成十八年には市当局のご尽力と深いご理解により「青野町」が誕生した。併せてダム建設に伴う入植から五十年になるこの期に、先代の方々への感謝の気持ちと、この歴史を次代の子孫に伝えるため茲に記念碑を建立し、顕彰するものである。

平成十九年十月吉日

青野町自治会

- ⑦現在の状況 青野多目的集会場広場で管理されている。





青野町誕生の歩み

鈴鹿山麓の裾野に開けたこの地青野は、永源寺ダム建設に伴い水没する旧永源寺町、佐目、九居瀬、釜尾の三地区が入植移住した地である。

昭和三十三年には青野開拓地の入植起工式が行われ、第一次入植による原野の開墾が行われ入植者による開墾が進められた。当時の開墾には機械の導入も少なく、人力牛馬の力にて開墾が行われ、先代の方々は毎日汗と泥にまみれ大変な苦勞をされ現在の青野の基礎を築かれた。今、我々は尊い汗の結晶のこの地に感謝し、受着を持って先代の方々のご意思を次代に引継がなければならぬ。

顧みるとダム建設により入植移住した戸数は当初九十戸余であったが昭和三十五年には青野住宅が建設されその後平成二年には青野ニュータウンが開発された。戸数も百五十戸余に増えたが、各地区別々の自治会として活動していた。平成十五年各自治会が話し合いの上、青野自治会が発足した。

平成十八年には市当局のご尽力と山止町の深いご理解により「青野町」が誕生した。併せてダム建設に伴う入植から五十年になるこの期に、先代の方々への感謝の気持ちと、この歴史を次代の子孫に伝えるため茲に記念碑を建立し顕彰するものである。

平成十九年十月吉日 青野町自治会